

第13期 環境市民会議（第3回）議事要録

開催日時 令和6年8月28日（水） 18時00分～19時00分

場所 武蔵野市役所802会議室

出席者 鈴木委員長、小川副委員長、荒井委員、安藤委員、見木委員、小町委員、竹嶋委員、蔦木委員、西村委員、村上委員、関口委員

内容 1 委員の交代について
2 議題：令和5年度版 武蔵野市の環境保全（案）について

1 委員の交代について

東京電力パワーグリッド株式会社 吉澤 淳子委員の後任として、蔦木 伸一郎委員が着任した。

2 議題：令和5年度版 武蔵野市の環境保全（案）について

発言者	発言要旨
事務局	資料1 令和5年度版 武蔵野市の環境保全（案）の説明
委員長	・「武蔵野市の環境保全」は20年以上前から作成されている年次報告書であり、継続性のあるものだが、単年度の特異性も考慮する必要がある。本日の会議の内容は、この「案」の承認の可否である。 ・一昨日、東京都環境審議会の企画政策部会に出席してきたため、参考に内容を紹介する。 テーマは省エネ、再エネの一体的推進と家庭部門のエネルギー消費の現状、課題であった。環境保全（案）によると2013年度比で市の家庭部門のCO₂排出量は減少しているが、都内のエネルギー消費量は、2000年度比で部門別にみると家庭部門が唯一増加している。そこで都は、世帯あたりエネルギー消費量の更なる削減のための政策に注力している。また再エネの有効活用と省エネの推進に関して、未利用の屋根での太陽光発電の徹底活用や、家電、給湯器を買い替えた場合の補助方式をポイント付与から店頭値引きへ見直すことなど、新築、既存住宅に対する支援も推進している。都内でも区市町村によって産業部門、民生部門、運輸部門の比率が異なり、傾向も求められる対策も異なるため、都には地域に応じた対策を求めてきたところであり、市は都との情報交換を密に行ってもらいたい。
事務局	資料「令和5年度版武蔵野市の環境保全（案）に対する事前質問と回答」の説明
A委員	ごみ焼却による発電量のグラフに関する事前質問に対する事務局からの回答を受けて、再度コメントする。 環境指標2－3（P13）：ごみ焼却に伴う発電量と地消率について。一般市民の立場として、ごみを減らそうという意識がある前提でこの指標を見ると、ごみにも発電に活用できるという価値があるのであれば、減量を意識する必要はないのかと混乱した。

事務局	ご認識のとおりごみを減量することが一番大事であり、できるだけCO₂の排出を削減するためにごみの分別をより推進し、それでも残るごみを焼却するにあたり、その価値をうまく活用しよう、ということである。分別が進んだことにより、廃プラスチックの焼却量は減っている。 ご意見を踏まえ、該当箇所には補足文を挿入する。
B 委員	事前質問に対する事務局からの回答を受けて、再質問する。 多摩の森林整備（P50）について、3者協定の1者である東京都農林水産振興財団の役割をもう少し詳しくご教示いただきたい。
C 委員	緑のまち推進課の事業である。東京都農林水産振興財団には、直接的に森林整備を担っていただいている。例えば二俣尾・武蔵野市民の森事業では、適正な森林整備とともに、武蔵野市民が自然とふれあい、地元住民と相互交流を図るよう、山林所有者・公益財団法人東京都農林水産振興財団・武蔵野市が相互協力し、山林の一部を「二俣尾・武蔵野市民の森」として保全活用することを目的に協定を締結しており、市が財団へ委託して森林整備及び啓発事業を行い、フィールドを山主から借りているというスキームである。
D 委員	武蔵野市民の森をNPO（武蔵野自然塾）でも活用させていただいている。森林の持つ水源の涵養、自然環境の保全など多面的な機能、森林の大切さを案内する場としての役割を担っている。
委員長	年次報告書の構成について、直近5年の比較で構成されており、短期では温室効果ガスが減少しているが長期では増加しているなどの変化が読み取れないため、制度ごとに比較できる過去の情報があれば提示してもらいたい。取得し得る一番古いデータの記載があれば、長期の視点で理解がしやすい。
副委員長	これまでに蓄積したデータのデータベース化は進んでいるのか。年次報告書の形でなく、自由に取得して活用できるように、データベース化しておくことが重要である。研究者が自由に分析できるような形で公開した方が、データの価値が高くなる。 これまでと発想を逆にしてデータベースを先に作成し、この年次報告書は自動的にそれを参照することで作成できるようにした方が、労力削減とデータの自由活用が同時に叶う。20数年積み上げたデータも、そうしていかないと生きてこないため、検討していただきたい。
委員長	業務のデジタル化の推進はひとつの課題である。政策目標を立てるベースとなる根拠も、デジタル化されている方がよい。 本日の意見を踏まえたうえで、事務局が案の一部を修正する。案は承認することとする。
事務局	次回は希望制でむさしのエコreゾートとクリーンセンターの見学を予定している。